

J Aバンク鳥取信連 平成 27 年度上半期の概況

【鳥取県信用農業協同組合連合会 半期ディスクロージャー】

●地域貢献情報

当会は、鳥取県を事業区域として、地元の J A 等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内の J A にお預けいただいた農家組合員・地域の皆さまの大切な財産である貯金を源泉としております。

当会では資金を必要とする農家組合員の皆さま方や、J A・農業に関連する企業・団体および、県内の地場企業、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当会は農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、J A との強い絆とネットワークを形成することにより J A 信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

○地域からの資金調達状況(平成 27 年 9 月末) ○地域への資金供給状況(平成 27 年 9 月末)

(単位：百万円)

預り先		貯金残高	
会 員	J A	346,553	(94.7%)
	その他	18,261	(5.0%)
	小 計	364,815	(99.7%)
会 員 以 外		949	(0.3%)
合 計		365,765	(100.0%)

(単位：百万円)

貸出先		貸出金残高	
会 員	J A	5,167	(24.4%)
	その他	1,972	(9.3%)
	小 計	7,140	(33.7%)
会 員 以 外	地方公共団体等	2,485	(11.7%)
	金融機関	6,710	(31.7%)
	その他	4,854	(22.9%)
小 計		14,049	(66.3%)
合 計		21,189	(100.0%)

○地域密着型金融への取組み

＜ 中小企業等の経営改善および地域の活性化のための取組みを含む ＞

J Aバンク鳥取（当会と鳥取県下 3 J A）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 25～27 年度 J Aバンク鳥取中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

主な取組みについては、次のとおりです。

➤ 農業者等の経営支援に関する取組み方針

J Aバンク鳥取では、当会とJ Aが一体となって、農業者への融資相談や新規就農者の支援、ニーズにあった農業資金の提供や地域農業・農村の振興と活性化に努めていきます。

➤ 農業者等の経営支援に関する体制整備

J Aバンク鳥取では、地域の農業者との関係を強化・深耕するための体制整備に取り組んでいます。当会の農業金融センターでは、農業金融センター職員によるメイン強化先へのJ A営農部門（営農センター又はT A C）・J A支所（店）担当職員との同行訪問、訪問資材の提供等を行っており、J Aでは、担い手金融リーダーを設置するとともに、信用・営農・経済部門が連携して農業者の多様なニーズに応えています。

➤ 農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援

J Aバンク鳥取では、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金等制度資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活を支援しています。

また、J Aバンクアグリ・エコサポート基金と連携して、厳しい経営環境に直面する多様な農業の担い手に対し、農業経営の安定化・効率化を支援することを目的として農業関連の融資に対する利子助成・利子補給を行っています。

➤ ライフサイクルに応じた担い手支援

J Aバンク鳥取では、新規就農者の経営と生活を支援するため、青年等就農資金を取り扱っています。

また、J Aバンクアグリ・エコサポート基金と連携して、J Aバンクアグリサポート事業の一環である「新規就農応援事業」により、新規就農希望者（研修生）の育成を行う農家等に対して費用助成を行っています。

➤ 経営の将来性を見極める融資手法を始め担い手に適した資金供給手法の取組み

J Aバンク鳥取では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

○ 文化的・社会的貢献に関する事項

➤ 『JAバンク鳥取 年金友の会』 グラウンド・ゴルフ県大会の開催

JAバンク年金友の会会員の健康増進、親睦を深めるため、第15回グラウンド・ゴルフ県大会を平成27年7月に開催しました。大会当日は、各JAの予選を勝ち抜いた36チーム・総勢216名の参加者が日頃の練習で磨かれた実力を発揮され、熱戦が繰り広げられました。



➤ 『JAバンク鳥取 ちょきんぎょ杯』

第41回鳥取県ママさんバレーボール選手権大会』を協賛



「バレーボールを通じて県民の心身の健全な発達に寄与する」という鳥取県バレーボール協会の趣旨に賛同し、平成27年8月に、『JAバンク鳥取ちょきんぎょ杯 第41回鳥取県ママさんバレーボール選手権大会』を協賛いたしました。

➤ 『わかば』 作文・図画コンクール(主催: JA鳥取県中央会)を共催

次代を担う子供たちが農業に親しみ、農業・食料の大切さを理解し、ごはんを中心とした「日本型食生活」の良さを見直すことを目的として実施される『わかば』作文・図画コンクール(主催: JA鳥取県中央会)を共催しています。

➤ 鳥取環境大学にて出前講義を実施

鳥取環境大学が地域金融ビジネスを多面的に理解することを目的として、地銀、行政等金融に携わる立場の人を特別講師に招き実施している科目『地域金融ビジネス』において、平成27年7月、「JAバンクの仕組みと役割」と題した出前講義を行いました。



●主要勘定の状況

(単位：百万円)

勘定科目	平成26年	平成27年	平成27年
	9月末	3月末	9月末
貯金	343,817	347,863	365,765
貸出金	21,879	21,750	21,189
預け金	248,922	249,464	266,754
有価証券	85,515	90,111	91,082

●損益の状況

(単位：百万円)

項目	上半期		年度決算
	平成26年度 半期	平成27年度 半期	平成26年度
経常収益	2,024	2,123	3,695
経常費用	1,373	1,448	2,649
経常利益	651	674	1,045
当期剰余金	520	579	880

●単体自己資本比率

平成27年3月末	平成27年9月末
23.80%	23.95%

(注) 金融庁・農林水産省告示第2号「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」に基づき算出しております。

●金融再生法開示債権(単体)

(単位：百万円)

債権区分	平成27年 3月末	平成27年 9月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15	15	0
危険債権	232	226	△5
要管理債権	-	-	-
小計	247	242	△5
正常債権	21,796	21,225	△570
合計	22,043	21,467	△576

(注) 上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として、次のとおり区分したものです。

①破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

②危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

③要管理債権

3ヵ月以上延滞債権で上記①及び②に該当しないもの及び貸出条件緩和債権をいいます。

④正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記①から③までに掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

●有価証券時価情報

(単位：百万円)

区分	平成27年3月末			平成27年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	1,710	1,775	65	1,708	1,773	65
その他	84,113	88,401	4,287	85,318	89,373	4,055
合計	85,823	90,177	4,353	87,027	91,147	4,120

(注) 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価により計上しています。

売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。